

市政懇談会 記録 6

高根・金杉地区市政懇談会記録

日時

平成14年8月10日（土曜日）

開催場所

高根公民館 講堂

質問事項

- [・歩道問題、高根公民館の建て替え及び駐車場の拡張について](#)
- [・焼却炉について](#)
- [・金杉十字路交差点の工事について](#)
- [・金杉5丁目の変則道路について](#)
- [・高根町の交通の便について](#)
- [・道路新設計画の進捗状況、道路整備について](#)
- [・御滝中学校付近の冠水について](#)
- [・市民センター建設について](#)
- [・交番の新設について](#)
- [・下水道について](#)
- [・散歩道について](#)
- [・「触れ合いサロン」の開催場所について](#)
- [・JR船橋駅北口の交通渋滞について](#)
- [・防災行政無線について](#)
- [・市民に夢を与えるプロジェクトの設定について](#)
- [・地域福祉について](#)
- [・パソコンの整備について](#)
- [・道路舗装工事の効率化について](#)
- [・高根川の上流部の公共下水道計画等について](#)

歩道問題、高根公民館の建て替え及び駐車場の拡張について

質問

歩道の問題ですが、桜ヶ丘の交差点、五叉より高根公民館へ向かっていき、右に曲がるカーブを曲がると左手に瓦屋さんの配送センターがあるのですが、このすぐ先の左手、田んぼ側歩道の真ん中に電柱が立っています。それより100メートル手前にある信号から公民館へ向かって人が左側を来ると段々と道路が細くなって、両方ガードレールと真ん中に電柱があり、自転車もバックも出来なくなってしまいう状況になります。これは道路を造った中で、非常に問題があ

ると思います。

また、高根公民館の駐車場は、非常に狭く皆さん苦勞しているので、長年の懸案ですが公民館の建て替え、駐車場の拡張が出来るものかどうか検討をしてもらいたいと思います。

回答

高根公民館の駐車場であります、出来るだけ用地を借りられればと考えております。現在は学校の理解をいただいておりますが、それよりも何よりも、やはり、専用の駐車場を設けたいと考えております。

建て替えの件であります「分かりました」ということはなかなかいい得ないものがあり、現在 25 館出来上がったばかりであります。これから先は、一つ一つ老朽化している方から建て替えていかなければならないと考えておりますのでご理解下さい。

高根公民館から桜ヶ丘交差点に至る道路の歩道の整備というご質問ですが、高根公民館と高根小学校、この区間は歩道として整備してあり、そこから桜ヶ丘交差点に至る区間、まだ歩道の無い所、或いは歩道が充分でない所があります。

この道路につきましては、拡張して歩道を整備したいと考えており、事業化に取り組んでいるところでありますが、ご指摘のある前後の部分につきましては、道路査定、道路の境界がうまくいっていない。そのようなことで道路の整備が出来ない状況にあります。

また歩道につきましては、ご指摘の区間は歩道としての認識はありません。たまたま擁壁を打って、車が転落しないようにガードレールを付けた訳ですが、ガードレールとガードフェンスの間が、歩行者用の空間に見える訳で、そこを歩行者が通っていると思いますので、反対側に歩道を通るよう、なんらかの方策を考えて行きたいと思っております。

焼却炉について

質問

高根町は個人ではなく、自社物件の焼却炉が多いように見受けられますが、設置基準を把握されているかどうかをお聞きしたい。

また、5 時以降とか、土曜日、日曜日にかけて時間外に煙とか悪臭がします。私の周りに何件か苦情もありますので、もう一度把握してもらいたいと思います。

この指導は、4 月から中核都市になりますが、どのような対処をしていくのかお聞きしたい。

それと煙とかの場合には、やめさせるということは出来ないのでしょうか。

回答

焼却炉につきましては、いくつかの法律があり、時間当たりの焼却能力により法律体系が違っております。一番大きな時間当たりの焼却量が 200 キログラム以上は、「廃棄物処理法」によって規制されており、その下の 50 から 200 キログラムまでは「ダイオキシン特別措置法」によって規制されております。50 キログラム以下につきましては、現時点では法律的な規制はありません。

高根地区の設置状況は、中間の 50 から 200 キログラムまでの施設が 3 基あり、それ以下の 50 キログラム以下のものが 6 基ほどあります。法律の適用を受けるものにつきましては、先ほど若干お話がありましたが、現時点では県の産廃課に届け出をして、その許可を得て設置することとなっております。

現時点で、市では、改善命令をする権限はありませんが、市民の皆様方に取りましては、煙公害といいますか、それは切実な問題として、受けとめており、適宜、地区を見回り不適切な状況で燃やしている場合には、指導しております。

市では、限られた人員のなかで、四六時中の監視は非常に難しい問題ですので、不適切な状況で燃焼等している場合には、市の担当課にご連絡いただければ、平日は勿論ですが、5 時以降、或いは、土曜、日曜に付きましても苦情処理体制が整備されておりますのでご連絡いただければと思っております。

また、来年 4 月 1 日から中核市になります。現時点の予定では「産廃課」を設置する予定であり、改善命令の権限等も市に出てまいりますので、より適切な対応ができるものと思っております。

夜間パトロールにつきましては、県の職員と共に 6 月と 12 月の計四日間、市内全域の夜間パトロールをいたしまして、燃焼効率の悪いものにつきましては指導しております。しかし、全地域を全ての時間網羅するということは難しいことですので、不適切な状況で燃やされておりましたらご連絡いただければ、即刻伺うようにしておりますので、ご協力いただければと思っております。

金杉十字路交差点の工事について

質問

金杉十字路のことについてお伺いします。

今日いただいた報告でも「千葉県葛南土木事務所にて、平面交差としての改良事業を進めております」となっております。実際上は、この 7 月に交差点の南西部分の所が若干の工事をしている訳です。これは道路全体を改良して行く工事なのか、用地買収は済んでいるか、そういうところは分かりませんが、この金杉十字路工事の見通しについて、ご説明いただけたらと思います。

回答

金杉十字路交差点の工事につきましては、平成 8 年度から千葉県葛南土木事務所が、交差点改良工事事業として着手した訳であります。

現時点では、用地買収率が 57 パーセント程度であります。用地を取得するには道路との境界、道路と民地境界を確定した上で、用地取得面積を確定する訳であります。その前段になります用地境界が、なかなか地元の皆さん、地権者の皆さんのご協力が得られないと、なかなか進みません。

県では、17 年度に完成させたいということで空地も目立ってきております。これから一番問題になるのは、墓地の境界を整備するうえで、非常に大きな労力を必要といたします。所有者関係で世代が交代しておりますから全世代に渡って調査するということでもあります。墓地を整備するのは一番頭が痛い訳で、最終的に解決しない場合には、四大新聞に広告を出して確定をして行くということになりますから、時間も掛かってしまいますが、右折、左折帯を造って、渋滞緩和をして行きたいということで、千葉県で頑張っていただいております。

将来的には、この道路は非常に大きな道路を考えており、一部で 40 メートルの幅員を考えておりますので、かなり立派な道路になろうかと思えます。若松交差点から中野木交差点までの道路が 40 メートルで完成しておりますが、あの道路がそのまま延長してくると金杉交差点だけは将来、船取線はアンダー、金杉線は上の部分ということで立体化したいと思っております。当面は交差点改良で一日も早く整備していき、完成目標を 17 年と設定しております。

金杉 5 丁目の変則道路について

質問

みづほ町会は、金杉団地の丁度北になり、御滝不動尊の裏から来た道の T 字路です。前回のときも通学路の問題でお骨折りいただき、立て看板の設置でご協力いただきましたが、一方の角には養鶏場の跡地があり、地域住民が自由に使っていたのですが、住宅が建ち物置などが造られた関係で道路が変則形状になってしまい、危険であると地元で持ち上がってきております。

また、ここは通学道路として、二和地区からの子供たちが、この場所を通らないことには、金杉台の小学校に来ることは出来ないという場所であります。

通行の形によれば「くの字」、ですが、両方の見通しが悪くて、その交差点にかかると、両方が出会い頭に睨み合ってしまう。塀などがありなかなか先まで見渡せませんので、間際でニアミス寸前、そういう状態で毎朝トラブルが起きております。看板だけではたぶん事故を未然に防ぐには、不完全になって来ておりますので、子供たちが事故に巻き込まれないうちに何かいい方法がないものか対応をお願いしたいと思います。

回答

金杉 5 丁目の変則道路につきまして、危険だということは感じております。根本的には、あの道が金杉と二和を結ぶ道路であってはならない、通過する道路を他に求めるのが一番ベターであろうと感じております。

一つの例でいえば、金杉台団地の中央道路を二和方向と結ぶというのが一番いいのかなという気はします。レイアウト状の問題でありますから団地の方々、或いは二和の方々の意向等も全く聞いておりませんが、レイアウトとしては、そのような方向が一番いいのではないかという感じはもっておりますが、かなり先の話になります。

従って、先ほどご質問のあった箇所が一番良いのは地権者のご協力が得られれば、角のわずかな部分であります。用地取得のご協力が得られれば、非常に良くなるのではないかとこのような感じをいたしております。出来ればそのような方向で進めていきたいと考えております。ただ、相手もいらっしゃることでもあります。また、その他交通規制なり、一方通行化の問題がありますが、規制を加えるということは地域の皆さんの合意が必要でありますので、難しい問題であります。

いずれにいたしましても、あの箇所は改善すべき箇所と考えておりますので、地元の皆さんとお話をしながら或いは交通管理者も参加していただきながら改善して行きたいと思っております。

高根町の交通の便について

質問

2 年程前に船橋市の中央部にありながら交通の便が大変悪い地域になりました。これは、今まで通過していた新京成バスの高根線が路線廃止され高根町中央部から現在通っている船橋バスの秋葉神社という停留所まで行くのに 10 分はかかります。他に周辺のバス停で近いのは、船橋バスの停留所「高根小学校前」というのがあり、これもやはり町内から 10 分かかります。それから、一番東側に位置している路線の停留所として「芝山団地入口」バス停があります。これも畑の中の農道を通過しても 10 分かかります。

このような状態で、車の乗れない年代の者は大変不便をしています。病院、駅へ行くのに大変な時間を労するという事で、私どもの案としましては、路線の一部変更ということを考えていただけたらありがたいと考えております。

回答

今ご指摘がありました件につきましては、平成 12 年 8 月まで新京成バスの高根線が運行されておりましたが、結果として路線が廃止されました。

原因ですが、自家用車が普及し、お客様が減ってしまい、運賃収入だけでは

経費を賄いきれないということから採算が取れないということで廃止になっております。

そこで、船橋バスの活用があるじゃないかという、停留所の名前が出ましたが「秋葉神社」、「うぐいす園」そういったところの他に、新たに停留所を作りまして、そちらのほうに利用も出来ないかということでありました。

それぞれの停留所につきましては、約 10 分程かかるということで、これではとても高齢者の方、或いは通学者の方にはちょっと問題があるということで非常に苦労しているとのことでありますが、船橋バスを 12 年 8 月まで走っていた新京成バスの路線に、走らせることができないか船橋バスさんのほうとお話させていただきました。

船橋バスは「グリーンハイツ専用線」ということで開設され、大型バスだけが走っております。新京成バスは道が狭いため中型バスが走っていたということで「中型バスにすれば、何とか入れるのだけれども」ということになる訳ですが、中型にしますと、一台千数百万円するということです。新京成バスが廃止されたのが、運賃の減少、乗客「減」ということで、それが賄いきれるのかなという船橋バスとしても懸念があるということです。

最低一台入れて、船橋駅までどの位お客さんが運べるのか、一時間に一本が限度かなということになります。それでも運転士さんは最低 2 名必要であり、船橋バスも渋っているところでもありますので、ちょっと無理かと思いますが、引き続き、船橋バスも含めて協議してまいりたいと考えております。

道路新設計画の進捗状況、道路整備について

質問

緑台と芝山間の道路新設計画の測量、民境界の査定、警察当局との協議などの進捗状況と完成予定年度につきましてお答えをいただきたいと思っております。

また、緑台の外周道路、これは市道であります。緑台は入居から既に 30 年を経過いたしました。外周道路の亀裂や凹凸が目立ってまいりましたので整備をお願いしたいと思っております。

回答

緑台と芝山を結ぶ新設道路につきましては、平成 10 年度に現地調査、測量を実施いたしました。市では、その必要性を認めただけで、測量に入った訳ではありませんが、芝山団地とグリーンハイツを結ぶ区間、約 700 メートルで地形的には田んぼ、台地ありで、高低差も大変多く、環境面の配慮も検討しなければならないなど、課題が山積であります。

従いまして、国の補助金を活用しながら、出来れば整備して行きたいという基本的な考えは変わりませんが、色々な課題の解決に向けて一つ一つやって行

かなければならない問題もありますので、今のところ、いつ完成するという完成目標を持っておりませんが、必要性は考えておりますので、財政状況、その他を考慮しながら進めて行きたいと考えております。

次にグリーンハイツの外周道路であります。高根小学校入口から道路の改修をさせていただいたばかりであります。ご指摘の外周道路につきましては、平成8年から平成13年度にかけて、歩道整備なども実施しております。

従いまして、大方いい道路ではないかと思っておりますが、局部的に悪い所はあろうかと思っておりますので、悪い箇所がありましたら、速やかに対応いたしますので、一緒に現地を見ていただいて、悪い箇所をご指摘いただき、相談しながら進めて行きたいと考えております。

御滝中学校付近の冠水について

質問

県道、夏見・小室線の御滝中学校付近の冠水について、前回要望し「県へ調査と改善をお願いする」とお答えをいただいております。その2年後に「工事執行に向けて調整中」「4年経ってまだ調整かと」厳しくは言いませんが、店舗の前に常に土のうを積んでおられるという状況を見ますと、早く解決していただきたいと思っております。この優先順位、この辺の本音の部分聞かせていただきたい。

回答

夏見・小室線の部分で排水整備が完成すれば出来る訳ではありますが、この区間は金杉台団地の奥の方に流末を求めており、その流末の排水施設が不十分であります。従って、不十分なところを改善させないと、たとえ県道の排水施設を完備したとしても結果的には冠水と同じになってしまいますので、関係機関と種々調整していた訳であります。「ちょっと掛かりすぎる」と言われると、本当に申し訳無い訳ではありますが、その調整もほぼ付き、工事の実施に向けて、今、最終調整を行っておりますので、もう少し時間をいただきたいと思っております。

市民センター建設について

質問

市民センター建設であります。前回「新しい基本計画ができたときに位置づけます」というのと、「現行の公民館の配置状況も踏まえて対応する」という答えをいただいておりますが、この回答のなかに、「総合計画の中に明記されており」、これは、確か要望は御滝町会の地区内に市民センターを建設していただきたいということであったと思っておりますが、新しい基本計画の中に、位置は明記されているはずではないかと思っておりますが、これについてご説明をいただきたい

と思います。今後とも、御滝地区への市民センター設置の要望を継続しておきたいと思います。この件につきましては平成 9 年、陳情を議会で受けていただいている経緯がありますのでお願いしたいと思います。

回答

市民センターの件につきましては、平成 10 年の 3 月の議会におきまして陳情が採択になっており、前回の市政懇談会におきまして、公民館の配置計画並びに基本計画との整備の関係で考慮していくという趣旨の答弁を行っておりますが、平成 12 年 4 月から「新基本計画」がスタートいたしました。そのなかで、コミュニティセンターの位置づけにつきましては、コミュニティ活動の推進で非常に重要だということで、活動の拠点として整備をして行くということで、計画いたしております。

基本計画、その下に具体化をする計画年次、4 年間の実施計画があり、その計画のなかでは、残念ながら現在、計上されていないということで、財政状況は大変厳しく、時間はかかると思いますが、実施計画に先ず計上すべく努力をしてみたいと考えております。

また、当地区と二和三咲の地区連があります。そちらの方からも、仮称であります「御滝市民センター」を造ってほしいということのなかで、用地も「この場所でどうか」というような提供の提案もありました。まだ、市の計画には載っていないというようなこともあります。この地区の皆様方が待望しているというようなこともあり、どの位の面積で、どういった方向が見出せるのか、そういう検討もしているということは、一つご承知おきしていただければと思います。

交番の新設について

質問

現在、当町会の管轄範囲として緑台の交番があり、ご承知のように緑台の交番は管轄が広く、遠い所に御滝町会が位置しています。パトロール等の安全確保のために継続的に警察本部への要請をお願いしたいと思います。

回答

交番の設置につきましては、市内で現在 18 箇所の設置を強く要望されております。前回、開催したときの要望に基づきまして、直ちに管轄であります船橋警察署を通じ、県へ要望した訳であります。現時点では実現には至っておりません。

しかし、昨年 7 月及び今年 7 月に千葉県市長会を通じ、県に要望いたしました。また、昨年は県警本部に出向き『実際のところの話を聞かせてほしい』ということでお願いをしておりますが、千葉県内では職員等の増員が、なかなか

か思わしくないという過去の事情があり、交番新設並びにパトロール強化につきましては進んでいないというご返事でありました。

千葉県におきましても 2001 年度は、375 名、2002 年度は 290 名の定員の増加が認められているとのことですが、現場に配置されるのは訓練があり、2 年後位になる予定であります。そのような状況のなかで千葉県全体として船橋のパトロール、交番新設等も含めて考えて行きたいので、今後とも努力したいという回答を得ております。

また、平成 15 年度の国の予算に対する千葉県の重点項目のなかでの警察官増員要望も引き続き行ってまいりたいということで、千葉県から国に対して定員増の要求をしているということで県も認識していると思います。

下水道について

質問

流域下水道の連絡幹線について「県に要望しています」と書いてありますが、これについて説明していただきたいと思います。江戸川の左岸流域下水道と印旛沼の流域下水道をつなぐ幹線だと思いましたが、これは震災等の非常時に連絡するものであって、この連絡幹線に暫定的につなげて、高根・金杉地区の下水を処理していただけるものなのか、これは県に対して要望しておられるようですが、可能性があるのかどうか、非常時に対応するものに、暫定的とはいえ、通常時に処理をしていただくというのは、処理場の容量もあると思いますが、当地区の公共下水道整備の可能性、あと 2、30 年待たなければいけないのかどうかお伺いしたいと思います。

回答

下水道につきましては、人口急増ということで基盤整備が非常に遅れております。ここ数年は、かなり財政事情が厳しい状況ではありますが予算の確保に努めてまいりました。

そういうなかでも、まだ 50 パーセント、二人に一人しかご利用なされないというような状況であります。市といたしましても今後とも鋭意努力はしてまいりたいと思っておりますが、下水道につきましては基本的には、通常排水整備と同様に下流から整備して行くということが、原則であり、これは自然流下ということで、より経済的な整備をして行くということであります。

当地区については、高瀬処理区これは臨海部にあり、高瀬町に処理場を造り、そこから本管をもってまいりまして、高瀬地区の各地域に枝線の整備をして皆さんの排水を取るという計画になっております。

この高瀬処理区は、船橋でも最大の処理区であり、下水道計画の中でも 45 パーセントという半分に近い地域を占めております。

現在、臨海部、夏見地区、或いは市場、そういった地区の整備をしているなかで、この地区まで延々と整備をして来るには、かなりの時間を要します。

そういった過程のなかで、県の連絡幹線が船橋地区を横断するということから、非常時の利用施設であります但し通常は空いている状況であり、何とかこれを使用する方法はないかということで、市長にも県へ申し入れをしていただいていたところでした。

県としても、「そういうことならばその方向で検討しようではないか」ということで、市でも現在準備を進めております。現在この計画が、概ね平成 17 年頃に完成させたいというお話でありますので、県が完成したあかつきには、一部でも利用を図りたいということも含めまして、現在協議しております。

事業を進めるうえにおいては、莫大な経費がかかりますので、国庫補助金をいただいたり、そういったものをクリアするためには、事業認可という諸々の手続きがあります。出来れば来年度中には一部地区について、そういう手続きに「入れたならば」ということで準備をしております。

散歩道について

質問

先ほど市長さんから「市民との協働の町づくりを推進している」ということでありますので提案させていただきます。

モデルの散歩道を「整備して下さい」というハード面の整備ではなく、ソフト面であり「この道は快適な道ですよ。車に煩わされないし、周りに自然があります」そういう道を、お年寄りや市民の皆さん方が道を選んで散歩道にしておられるはずで、それを公募或いは老人会から提案していただき、市民参加をして船橋の「自然との触れ合い散歩道」とか、船橋市の散歩道を決めて行き、情報を発信するといいますか、ホームページを立ち上げていただいて、「船橋の散歩道」というのをを出していただければ、市民は助かると思います。名称はどうでもいいと思うのですが、そういう形での取り組みをお願いしたいと思います。

また、その沿線には自然と共に歴史もある訳であり、その「ルート図」と申しますか、「案内図」、「ガイドブック」等、そういう情報発信をすれば、4 月から始まっております総合計画の場としても活用ができるのではないかと思います。

回答

散歩道につきましては、本市は首都近郊にありながら比較的多くの自然が残されております。これらの自然を出来るだけ良好に残すことが出来るよう、市では自然と共生した町づくりを目指しているところであります。そういったな

かで、特に金杉自然地区をはじめとする海老川沿いについては、河口から源流にいたるまでを海老川環境軸と捉え、斜面緑地、河川、水田などの多様な自然環境を活かしたなかで、海老川沿い、或いは中津川沿いに散歩道を整備しているところであります。

また、その他、現在、船橋観光協会において、幾つかのルートが設定されております。また、大神宮を基点といたしまして、神社仏閣等をつなぐ歴史の散歩道についても2ルートが、市の事業によって整備されております。

更に、市の西部地域であります。葛飾地域におきましても、市と地域住民の共同により整備いたしました「湧水」溜め池であります。その溜め池と神社を結ぶ散歩道も設定されております。

このように単発ではありますが、散歩道については、それぞれの地域で活用されております。市といたしましては、散歩道の整備につきましても自然と共生した町づくりの一環として捉えております。

このようなことから、都市計画部まちづくり推進課のなかに、まちづくりに関する相談窓口を昨年開設しておりますので、今後とも、この相談窓口を活用していただければと思っております。また、その相談窓口を通じまして、情報発信やホームページの構築に今後とも努めてまいりたいと思っております。

なお、自然触れ合い散歩道につきましても、船橋市には自然があるということのなかで、例えば、高野台、二和、三咲、八木が谷地区に「二重川」という川が流れております。この二重川の整備をすることによりましても、今までの矢板を打ち込んだ川ではなく、多自然型の幅員を広く取った中で散歩が出来るような、自然に触れ合えるような、そういった方策で二重川を改修いたしております。

また、木戸川におきましても多自然型の幅員を取った河川整備を行ってまいります。当地区におきましても「御滝」という大変知名度の高い海老川の源流を発しているようなこともありますから、散歩道、遊歩道そういったものも造ったなかで、皆様方と一体になって物事を進めていきたいと考えております。

そして、船橋市には本当に歴史のある町並みというものもある訳であり、海老川の河口の方へ行きますと「海を活かした町づくり」ということを銘うって、諸々を活かした散歩道といえますか、そういったものも出来ればと考えております。また、西船地区に「湧水」があり、逆に二宮の方へ行きますと歴史のある二宮神社があります。そういった諸々も考えられる訳でありますから、ご理解をしていただければと思っております。

「触れ合いサロン」の開催場所について

質問

町会の会館のようなものが無くて困っています。10年度の市政懇談会で「市民センターの建設について」というのがあり、こういう計画を立てていただければ、私たちは凄くいいなと考えております。それまでの間「触れ合いサロン」というのを地区社協でやろうとしているのですが、金杉小学校、御滝中学校の教室をお借りして、私たちは活動したいと思っても、行政、学校の関係でなかなか出来ない。そういうものが出来ないようでしたら、早急に高根公民館までくる道路を早く車椅子でも、高齢者を連れてこられるような状態にしたいと常々思っています。市民センターが出来るまでの間、道路整備をしっかりとやっていただいて、高根公民館で皆活動したいと思うのですが、宜しくお願い致します。

回答

昨年の4月から学校の開放については、空いている教室であれば校長の裁量によって解放しますということになっております。しかしながら、大阪池田小での事件があり、学校でも苦慮しているということでもあります。これから先、毎週土曜日、学校が休みになってきたということがあります。学校での利用は教育委員会と相談させてもらいますが「触れ合いサロン」こういった利用が常設でということになってくるとなかなか難しいのかと思います。

現在学校によって空き教室がある学校と無い学校があります。空き教室がある学校につきましては、5日制等も実施されておりますので、積極的に、その施設を地域に開放していきましようというような形で進めております。

金杉小学校や御滝中学校につきましても、各学年1クラスの余裕教室以外については出来るだけ開放して行こうということ、また、現在使っている図書室、コンピューター室等についても管理上、運営上で問題が無ければ積極的に校長の判断で貸していいということになっておりますので、学校にもう一度問い合わせするなり或いは、難しい問題がありましたら、教育委員会へ直接お越しいただいても、電話等での相談でも結構ですので、ご相談していただければと思います。

JR船橋駅北口の交通渋滞について

質問

私どもこの地域に住んでいる生活者の「足」はバス、マイカーであります。天沼公園までバスが到達するのに10分以上かかります。ラッシュアワーでは一日同じことが繰り返されております。北口の交通渋滞に関しましていかがお考えでいらっしゃるか伺いたいと思います。

この解決策として、道路を広げることが出来ないならば、歩道橋を天沼公園辺りに考えたら、信号に対する歩行者の考え方も変わってまいりますので、安全も確保でき交通渋滞も多少減少できるのではないかと思います。

この交通渋滞で、こちらの方に住んでいる方は全部が船橋を経由します。本当に時間を無駄にしています。船橋バスがグリーンハイツまで到達するのに 40 分から 1 時間ということも間々あります。そういうことにつきましてご意見を伺いたいと思います。

回答

北口の渋滞につきましては、確かに言われますように駐車場待ちの車が並んでおります。そしてまた、タクシーが乗客待ちで並んでいますと、一般の車またバス等は大変な渋滞を来しているのも現実であります。それらも承知いたしております。先ほどお話がありましたように歩道橋というようなこともあります。出来ればバス、一般の車が駅周辺まで行かずに手前で下りていただいて、後は歩いていただくとか、そういった方策も一つかと考えておりますが、なかなか、そういったことも出来ないのが現状かと思っております。それよりもなによりも、本来ですと天沼の公園まで駐車場をもってくれば、解決策があるという考えもあります。この地区の皆様方がバスで船橋駅周辺へ来て、後わずかなところで何十分も待たされる、そういうイライラというものは、私どもも現実に思っておりますし、自らが間に合わないから歩こうという経緯もあります。そういったこともよくよく考えさせていただきたいと思っております。

防災行政無線について

質問

非常時の情報提供ですが、船橋市の光化学スモッグ情報等が流れておりますが、非常に難聴であります。これは、私たちがいる場所だけがそうなのか分かりませんが聞き取れない。本当の非常時には、人命に関する問題でもありますので、是非関係者の方に歩いていただいて周りの皆様のご意見を伺いながら、この難聴に対応していただきたいと思っております。

回答

防災行政無線の難聴関係につきましては、市全体で 161 台設置しておりますがこの地区では、高根小学校、金杉小学校、金杉幼稚園、緑台保育園、金杉桜ヶ丘児童遊園、グリーンハイツ、第九分団の第五班の器庫に設置してあります。確かに風向きによりマンションの中で締めきりだと聞こえないという情報をいただきますが、そういう情報をいただいたときには防災課の職員が現地調査しております。ご連絡いただけましたら、調査したいと思っております。

市民に夢を与えるプロジェクトの設定について

質問

海老川のそばの「上総掘り」の実演が春 3 月にありました。あの界限に蛍を飛ばせるような構想があるのだということをお人から伺いました。先ほど散歩のお話もあり市長のご説明もありました。

それらに共通する問題かと思いますが、やはり船橋市にも大きなプロジェクトが必要だと思います。市民の活力源を生み出すような花火をぶち上げていただきたい。夢が欲しいということです。市として、市民に大きな夢を与えるプロジェクトというものの設定といたしますか、お考えを是非これから検討していただきたいと思います。

回答

海老川での「上総掘り」につきましては、私も出席させていただきました。あの上総掘りを行っていただいたなかには、自然であるような湧水と申しますか、掘れるということをお市民に周知をしたいと同時にあそこで「海老川上流町づくり構想」の中にそれだけのことが出来る、自然と共生出来る、そういった形をとりたい。まだ「蛍」というところまでは行かないのですが、将来的には蛍も発生しますよと、そういったものの観点のなかから、今年にあそこで稲を植えていただき、自然の収穫もこれから先、小学生の皆さんがやっていただければと思います。また、先般「菜の花の祭り」ということで菜の花を蒔きましたところ、全て鳩に食べられてしまったというようなことであり、花が見られなかったのは残念でありましたが、そういったことも市民の皆様方がやっていただける、また、参加をしていただけるということが、非常に有り難いことでありますから、そういった施策をこれから先、進めて行きたいと思っております。

地域福祉について

質問

地域福祉についてお願いをしたいと思っております。

冒頭、市長さんに「福祉については絶対後退させない」というお言葉をいただき大変力強く思ったのですが、介護保険、高齢者福祉、そういう施策の部分で大いに努力していただくことを期待しております。それと先ほどから市民が船橋市をより良くしたいということで、一生懸命考えている部分については充分聞いていただいたと思うのです。そういったなかで、民間活力というものを大いに利用していただくというか、この地区にも地区社協もあり、そこを中心に地域福祉を展開しております。緑台では、制度ボランティアの民生委員や母子福祉推進員、それから、ボランティアの緑台町会の女性で「助け合いの会」ということを地域で展開しておりますので、そういうことを評価していただき

たいと思います。

そういう点では、先ほど2002年に発行されました「市民の便利帳」に民間活力ということが、一行も割いていないのです。それが非常に残念で失望いたしました。皆さん大変船橋市を良くしたいと一生懸命考えておりますので、嫌がらずに充分聞く耳をもって、今後の市政を展開していただきたいと思います。

回答

ご要望に対するお答えではないのですが、ご発言ありましたとおり、福祉に関していいますと、特に高齢者の関係であります。介護保険制度も始まり、色々な方向で新しい対応が迫られております。ただ、行政がやれるということは、やはり、限界があります。公的な制度は充実しなければいけないので、先ほど冒頭に「敬老関係の行事の見直しをさせていただきました」と説明しましたが、それもそもそも、これからの高齢化社会にキチンとした対応をするためには、構造的に対応しなければいけないだろうという問題意識がありまして、やはり、在宅での高齢者福祉をより充実したいという気持ちが市にもあった訳であります。

そういう意味で、行事の見直しで削減させていただいたお金につきましては、高齢者の在宅で暮らしていただく方はタクシーなどで少し出歩きやすいようにするとか、住宅がどうしてもネックになりますので、住宅改修の費用を以前よりも手厚く助成させていただくとか、或いは今、皆さん、お話になりました地区社協の活動に対しまして以前よりも手厚い助成をさせていただいております。

これは今年度から新しい施策として展開をしてみたいと思っているものなのですが、社会福祉協議会、特に地区の社協におきましてのご活動で、非常に細やかな、特に介護保険に至る前の方が、より、その地域の中で活動していただくことによって長く健康で健康寿命を伸ばしていただくということは、在宅で長く過ごしていただくためにも非常に重要なことだと思っておりますので、この活動に対しまして感謝を致しておりますし、これが無くては福祉も成り立ってきませんでしたし、今後は益々こういう活動がないと何も進まないというふうに深く認識しているところであります。

「民間」という言葉で、冊子の方に入っていなかったということについては、細かく承知しておりませんでした。今後、そういう意向を反映させた形での要望をさせていただきたいと思っております。

パソコンの整備について

質問

IT事業が進んでおり、各公民館や学校を使い、習得しているが、実際にそれを「自分で買ってやってください」ということだと思っておりますが「情報難民」

を生み出しているような気がするのです。

ここにいる方々のどれだけの方が、船橋市のホームページがリニューアルしたことを知っているのか、公民館とか、人の多くが集まる場所に実際に情報を見られるようなことを展開していただきたいと思います。

回答

船橋市のホームページ等の情報を、多くの市民が集まる公民館等の公共施設において見られるように展開してほしいとのご要望ですが、公民館でのインターネット端末機の設置は今のところ予定しておりませんが、平成15年4月にオープンいたします南口再開発ビルの公共公益施設内において誰でもがホームページを閲覧できるよう情報コーナーを設置する予定となっており、その利用状況等を見ながら検討してまいりたいと考えております。

道路舗装工事の効率化について

質問

私どもの町会に新しい家が16軒、去年から今年にかけて出来ました。

佐々木病院の跡地（分譲地）横の道路は私道であり道路位置指定してありません。それで道路位置指定をして道路を造りました。その時に、当自治会の会長から市へ工事して行く段階で車が出入りすると道路が壊れてしまうので「最終的に道路舗装すればよろしいのではないのでしょうか」ということを再三申し入れたが、佐々木病院の持っていた部分を舗装しました。この7月までには全戸数入居し、その後道路の壊れた部分を市にお話し、舗装をもう一回やり直した訳ではありますが、そのやり直した部分が波状で市へお話したところ、現地を見に来ていただき「波状は良く解かった」工事した業者を私どもの町会に向けていただき確認したところ「確かに波状ですね」と「ローラーも何もかけておりませんね」で、そのような状態のままになっております。

市で最後にやっていただければいいというものを最初にきれいにした後、工事して、その後、工事した後の補修がしっかり出来ていない、これは市の予算の無駄ではないかと感じております。業者、市でお互いに考え合わせて予算の無駄使いのないようにしていただきたいということで業者の返答待ち、市の返答待ちであります。

もう一つ、金杉十字路は何十年かけてあそこまで進んできたという状況であります。東京近郊を見ますと工事状況を図面化してあります。その状態がいつまでにどういうふうになるのかを図面化し公示していただければ市民、運転者の方々に対しても安心を与えるのではないかと思います。市でもやっていらっしゃいますが、もっともっと三現主義（現場、現物、現実）を徹底していただいて、取り上げていただければ、船橋市も良くなっていくのではないのではな

いかと提言させていただきます。

回答

当該地の建築行為につきましては、都市計画法並びに船橋市宅地開発事業に関する要綱に基づく事前協議の対象外でありますので、宅地内道路及び私道に関し市との事前協議は行っておりません。

しかし、当該地に接道する東側の市道及び西側の赤道については側溝の工事及び道路のセットバック等の関係から市の指導を行っております。

したがいまして、この建築行為に係る道路舗装は、全て施工業者の費用で施工したものであり、市の予算で施工したものではありません。

なお、市道及び赤道における道路工事後の補修については、前述のとおり市から施工業者に対し、指導しておりますが、貴自治会から補修不足というお話がありますので、再度施工業者に対し貴自治会と立ち会い協議するよう連絡をいたします。

なお、位置指定道路は私道であり、個人所有の道路における道路補修については、市は関与できませんのでご理解ください。

金杉十字路につきましては、主要地方道船橋我孫子線と県道夏見小室線が交差する交差点であり、現在、道路管理者である千葉県葛南土木事務所にて事業を進めております。

このことから、ご要望のありました主旨につきまして当該事務所へ申し伝えます。

高根川の上流部の公共下水道計画等について

質問

高根川の上流部のことについてお尋ねしたいのですが、現在、高根川に流入する雑排水は、上流部に緑台団地を含め、周辺の住宅地の排水が流れ込んでおります。

しかしながら排水路が狭いために、年に2回から3回は我々の耕作地に雑排水が流入いたします。そのような状況のなかで、先だって、高根町内を通過する印旛沼連絡幹線ですか、幹線の工事着工の通過に伴う住民との話し合いが現在行われておりますが、この管渠の完成後速やかにこの地域の下水が繋がれるようお願いいたします。

それと、それまでの間、我々の保有している農地に付いている水路についても当然拡幅なり、また、調整池の設置とか何らかの計画を立てていただきたいと思っておりますので、宜しく願いしたいと思っております。

回答

高根川は新京成線南側の新高根付近に源を発し、住宅密集地を流下し、水田

地帯に達し、その後、念田川と合流し海老川に流入する流域面積約 170ha、流路延長約 3km の普通河川であります。

現在、千葉県では下流の海老川において、広域基幹河川改修事業により調節池を整備しているところであり、海老川はこの調節池が整備されますと時間あたり 50mm 対応の河川となりますことから、本事業の進捗を見合わせながら普通河川高根川整備計画を作成し、検討してまいりたいと考えております。

調整池につきましては、高根中、高根東小学校のグラウンドに雨水貯留施設を設置しております。また、宅地開発行為などにも雨水貯留浸透施設の設置をするよう協議し実施しており、各家庭においても浸透枮設置における補助制度も実施しております。

今後も、より一層地域における浸水被害の軽減を図り、河川の維持管理に努めてまいります。

また、高根地区の下水道整備については、当地域は高瀬処理区として計画されております。この処理区は、本市中央部を流れる海老川水系内の支川同様に、地形に倣うよう幹線管渠が計画されており、臨海部に建設されている高瀬下水処理場へ汚水を流下させ処理する計画となっております。

現在、千葉県が施行する流域下水道事業では、災害時等の下水道機能補完施設として、印旛沼・江戸川左岸連絡幹線が本市の高瀬処理区を横切る形で計画され、芝山地区等の一部工区（芝山団地南側調整池付近）で事業着手されており、この連絡幹線が供用されますと高瀬処理区の上流域の汚水を暫定的に取り込めるよう千葉県に要請しております。

協議の進捗状況は、法手続きであります事業認可の作業に着手し、接続の手法など具体的な調整に入っており、市の希望として、平成 15 年度に事業認可を取得し、着手したいと考えております。

これにより、高根地区を含む高瀬処理区上流域の下水道整備の早期化が図れるものと考えておりますが、各地区で下水道を使用開始するためには、連絡幹線から市が下水道幹線を施工し、各家庭へ接続するもので、連絡幹線からの距離にもよりますが、連絡幹線完成後、数年は必要かと考えております。

このように、整備拡大に向け努力しておりますので、今しばらくお待ち くださいようお願いいたします。